

東京純心大学紀要 投稿原稿 執筆要領

(目的)

第1条 本要領は、東京純心大学紀要投稿規程（以下「投稿規程」という。）に基づき、看護学・助産学及びその関連分野、ならびに教養教育、基盤教育、教育実践、人文・社会その他本学の教育研究活動に関わる投稿原稿の体裁、構成、分量、要旨、キーワード、引用文献、研究倫理の記載方法その他執筆上必要な事項を定める。

(適用)

第2条 本要領は、投稿規程第6条に基づき、看護学・助産学及びその関連分野、ならびに教養教育、基盤教育、教育実践、人文・社会その他本学の教育研究活動に関わる投稿原稿に適用する。適用の可否は、原稿の内容及び分野に応じて、図書館・学術運営委員会（以下「委員会」という。）が決定する。

(原稿構成)

第3条 原著論文の構成は、原則として、看護分野では「緒言、目的、方法、結果、考察、結論」、人文・社会分野では「問題設定、先行研究、目的、方法または資料、分析または考察、結論」を基本とする。

2. 総説、研究報告、実践報告、研究ノート、資料、翻訳、書評その他の原稿種別は、それぞれの目的及び内容に応じて、適切な構成とする。
3. 実践報告は、背景・目的、実践内容、結果又は振り返り、考察を基本構成とする。
4. 研究または実践の性質に応じて、前各項の構成は適宜変更することができる。

(要旨およびキーワード)

第4条 原稿には、原則として和文要旨及び英文要旨を付す。

2. 原著論文の和文要旨は400字以上600字以内、英文要旨は300語程度とする。
3. 要旨は、原則として「目的」「方法」「結果」「結論」の各項目に沿って構造化して記述する。構造化記述を行わない場合であっても、論文の目的、方法または資料、結果または考察、結論が明確に示されるよう記述する。
4. 外国語本文の原稿については、日本語要旨を付す。
5. 英文要旨及び英文で作成された原稿については、投稿前に英語を母語とする者又はこれと同等の英語校閲能力を有する者による確認を受けることを原則とする。
6. キーワードは3語以上5語以内とし、本文及び要旨の内容を適切に表す語を選定する。

（研究倫理の記載方法）

第5条 投稿原稿は、投稿規程第7条に定める研究倫理に適合しなければならない。

2. 人を対象とする研究、個人情報を含む研究、教育実践に関する調査等について倫理審査を受けた場合は、最終原稿において、承認機関名、承認番号及び承認年月日等を明記する。
3. 匿名査読を行う場合は、査読用原稿において、倫理審査機関名、承認番号、研究機関名その他著者又は所属機関が特定される情報を記載しない。
4. 倫理審査を要しない研究又は実践報告であっても、研究対象者又は関係者への説明、同意、個人情報保護、匿名化等について、必要に応じて本文中に記載する。
5. 研究倫理に関する記載の適否について疑義がある場合は、委員会が必要な確認を行うことができる。

（利益相反）

第6条 著者は、投稿規程第8条に基づき、原稿内容に関して開示すべき利益相反の有無を申告しなければならない。

2. 利益相反の有無は、本文末尾の所定箇所に記載する。
3. 開示すべき利益相反がない場合は、「開示すべき利益相反はない。」と記載する。
4. 開示すべき利益相反がある場合は、その内容を簡潔かつ具体的に記載する。

（看護研究における倫理上の留意点）

第7条 以下の事項について本文中に明記することが望ましい。

- (1) インフォームド・コンセントの取得方法
- (2) 個人情報の保護および匿名化
- (3) 臨床・教育現場における承認手続

（生成 AI 等の利用）

第8条 生成 AI その他の人工知能関連ツールの利用は、投稿規程第10条に従う。

2. 著者は、生成 AI 等を利用した場合、その利用の有無及び範囲を、本文末尾又は委員会が指定する様式に記載する。
3. 看護学・助産学及びその関連分野の原稿においては、患者情報、研究対象者情報、未公表データ、機密情報その他第三者の権利又は利益を害するおそれのある情報を外部の生成 AI 等に入力してはならない。
4. 生成 AI 等を、研究データの捏造、改ざん、恣意的な解釈又は著者の責任を不明確にする目的で利用してはならない。
5. 原稿内容の正確性、独創性、研究倫理及び著作権その他法令上又は倫理上の責任は、著者が負う。

(提出書類及び様式)

第9条 投稿に際しては、次の各号に定める書類又は情報を、委員会が指定する方法により提出する。

- (1) 投稿申込書又は投稿申込情報
 - (2) 誓約書
 - (3) 利益相反自己申告書
 - (4) 提出前チェックリスト
 - (5) 生成 AI 等利用申告欄又は申告書。ただし、生成 AI 等を利用した場合に限る。
2. 前項各号の様式は、委員会が別に定める。
3. 様式の提出は、電子ファイル、電子フォームその他委員会が指定する方法による。

(原稿作成形式)

第10条 原稿は、原則として Microsoft Word 形式で作成する。

2. 用紙は A4 判とし、1 頁あたり 35 字×28 行を標準とする。人文・社会などの看護学以外の分野では 40 字×36 行を標準とする。
3. 各頁の下中央にページ番号を付す。
4. 投稿原稿は、本文ファイル、査読用ファイル及び必要に応じて図表その他の付属資料に分けて提出する。
5. 査読用ファイルは、著者名、所属、謝辞、倫理審査機関名、承認番号その他著者が特定される情報を除いた PDF 形式とする。
6. 最終原稿には、採択後に必要な著者情報、倫理審査情報、謝辞等を補記する。
7. 研究費、助成金、共同研究機関、研究協力者、資料提供者その他謝意を表すべき事項がある場合は、最終原稿に謝辞として記載する。

(匿名査読対応)

第11条 査読用原稿には以下を記載しない。

- (1) 氏名
 - (2) 所属
 - (3) 倫理審査情報
 - (4) 謝辞
2. 自著引用は匿名性を確保する形で記述する。
3. 採択後、最終原稿にて著者情報、倫理審査情報及び謝辞を補記する。

(分量)

第12条 原稿ページ数（本文・図・表・文献を含む）は以下の通りとする。

- (1) 原著論文：16 ページ
- (2) 総説：16 ページ
- (3) 研究ノート：12 ページ
- (4) 実践報告：12 ページ
- (5) 資料：12 ページ
- (6) 翻訳：12 ページ
- (7) 書評：4 ページ
- (8) その他：8 ページ

※図表 3 点を原稿 1 ページとして換算する。

(表記・記述／図表・写真／引用・注・参考文献)

第 13 条 表記・記述、図表・写真、引用・注・参考文献に関しては、分野ごとに別表に定める。

(修正対応)

第 14 条 査読コメントに基づく修正は以下による。

1. 修正箇所に下線を付す。
2. 査読者への回答書を作成し提出する。

(その他)

第 15 条 本要領に定めのない事項は、東京純心大学紀要規程、投稿規程、査読規程および編集規程による。

(改廃)

第 16 条 この要領の改廃は、委員会の議を経て行う。

附則

本要領は、令和 8 年 9 月 1 日から施行する。

別表 1 【看護学・助産学及びその関連分野】

①表記・記述 ②図表・写真 ③引用・注・参考文献

① 表記・ 記述	1. 外来語および外国人名は原語またはカタカナで記述する。 2. 薬剤名は一般名を用いる。 3. 研究方法および統計記載 3-1. 研究デザインを明確に記述する。 3-2. 対象、方法、分析手法を再現可能な形で記述する。
----------------	--

	3-3. 質的研究では分析過程の明示が望ましい。 3-4. 統計手法および使用ソフトを明記する。 3-5. 信頼性・妥当性について必要に応じて記述する。
② 図表・ 写真	1. 図表・写真は本文とは別に 1 枚 1 点で作成する。 2. 図表・写真には通し番号を付す（図 1、表 1 等）。 3. 本文中に挿入位置を明示する。 4. 図表・写真は必要最小限とする。
③ 引用・ 注・ 参考 文献)	1. 文献は、本文の該当する箇所の上方に 1)、1) ～4) などの番号で示し、本文原稿の最後一括して引用番号順に記載する。なお、共著者は 3 名まで記載する 2. 雑誌名は下記に示すように、省略・略記せずに正式名で記載する。 (1) 雑誌…著者名. 論文名. 雑誌名. 巻 (号), 頁一頁 (出版年) ① 秋元典子, 森恵子, 中塚幹也. 若年子宮頸がん患者の手術決意過程. 日本がん看護学会誌. 24(2), 5-14(2010) ② Roiland RA, Heidrich SM. Symptom clusters and quality of life in older adult breast cancer survivors. Oncology Nursing Forum. 38(6), 672-680(2011) (2) 単行本…著者名. 書名. 版表示. 出版地, 出版社, 出版年, 頁一頁 ① 奥田千恵子. 医薬研究者のための評価スケールの使い方と統計処理. 京都, 金芳堂, 2007, 51-77 ② Yarbrow CH, Frogge MH, Goodman M(eds). Cancer Nursing : Principles and Practice. 6th ed. Sudbury, MA, Jones and Bartlett Publishers, 2005, 229-249 (3) 編者のある単行本の一論文…著者名. “論文名”. 書名. 編者名. 版表示. 出版地, 出版社, 出版年, 頁一頁 ① 小林心. “FOLFOX 療法における深部静脈血栓症”. がん化学療法における有害事象管理の実践. 嶋 清彦・末永光邦編. 東京, 日本医学館, 2011, 28-29 (4) 翻訳本…著者名 (訳者名). 書名. 版表示. 出版地, 出版社, 出版年, 頁一頁 ① Leininger MM (近藤潤子, 伊藤和広訳). 看護における質的研究. 東京, 医学書院, 1997, 154-172 (5) 電子文献… ① DOI がある学術論文…著者名. 論文名. 雑誌名. 巻 (号), 頁一頁 (出版年). doi:DOI 番号. (参照年-月-日) ② DOI がない学術論文…著者名. 論文名. 雑誌名. 巻 (号), 頁一頁

	頁（出版年）. URL. （参照年-月-日） （6）Web サイト, Web ページ…著者名. Web ページの題名. Web サイトの名称. 更新日付. URL, （参照年-月-日） ① 国立がん研究センターがん情報サービス. 知っておきたいがんの基礎知識. がん情報サービス. 2017-9-20. ② http://ganjoho.jp/public/dia_tre/knowledge/basic.html, （参照 2017-11-21）
--	--

別表2 【人文・社会など看護学以外の分野】

①表記・記述 ②図表・写真 ③引用・注・参考文献

① 表記	1. 年号は原則として西暦を用いる。必要に応じて元号を併記することができる。 2. 数字は原則としてアラビア数字を用いる。 3. 句読点、カギ括弧、ダッシュ等の用法は、原稿内で統一するものとする。
② 図表・ 写真	1. 図、表、写真には通し番号を付す。 2. 表題は、表については上部に、図及び写真については下部に記載することを原則とする。 3. 他者の著作物を利用する場合には、必要な許諾を著者の責任において得るものとする。
③ 引用・ 注・ 参考文 献	1. 引用及び参考文献の記載方式は、各専門分野における標準的方式による。 2. 同一原稿内では、引用方式及び文献記載方式を統一しなければならない。 3. 方式として、APA、MLA、Chicago その他当該分野で一般的な方式を用いることができる。 4. 注は、各専門分野の慣行に応じて脚注又は文末注とすることができる。ただし、同一原稿内では方式を統一する。 5. インターネット資料を引用又は参照する場合は、著者名、資料名、媒体名、更新日、URL 及び参照年月日等を明記する。